

第12回教育委員会 会議録

- 1 開催日時 令和3年12月20日（月）午前10時00分
- 2 開催場所 大町市役所 西会議室
- 3 出席委員 教 育 長 荒 井 今 朝 一
同 職 務 代 理 者 中 山 晴 隆
委 員 仲 原 直 美
委 員 甘 利 道 子
委 員 下 川 清 志
- 4 説明のため出席した者
教 育 次 長 竹 内 紀 雄
学 校 教 育 課 長 三 原 信 治
生 涯 学 習 課 長 志 賀 一 夫
学 校 指 導 主 事 中 村 一 郎
- 5 事務局 学校教育課庶務係長 柳 沢 俊 樹
学校教育課学校教育係長 松 倉 康 治
学校教育再編係長 一 本 木 晋

《開会 午前10時00分》

荒井教育長

おはようございます。

本年、最後の第12回の定例教育委員会を始めます。

それでは、会議録について、ただ今回覧をしていますが、よろしいでしょうか。

[全委員、「承認。」]

それでは、会議に入ります。

まず初めに教育長報告となります。

(資料に基づき説明。)

以上で報告となりますが、質問があれば、いかがでしょうか。

下川教育委員

先日、PTA会長さんをはじめとする教育懇談会に参加しました。その中の資料で、不登校の児童生徒が登校できるようになったという事例について記載がありました。教育支援センターでの支援により、特定の教科の学習に興味を持ち、その教科の日は登校できるよ

うになったという事例。また、担任の先生が家庭訪問を繰り返したことで、将来の進路を自ら考えるようになり、週に一回程度登校するようになったという事例が紹介されていました。このような取組がどんどん広がっていけばいいなと思いましたし、私的には、ICTがそのきっかけになればと思っており、興味あることをリモート等でやってみて、その興味が広がることで登校につながればいいと思ったところです。

荒井教育長 情報機器端末を使ったり、家にあるパソコンを使ったりして、ICT教育を学校から発信していくことも一つの方法だと思います。

下川教育委員 まずは、いろいろな方法があることを理解してもらい、私的には学校に来ることが目的ではないと思っています。

学校長との連携のもと、フリースクール等への登校についても出席扱いになると聞いています。

荒井教育長 フリースクール等への登校の把握は大事なことであり、学校とフリースクール等との連携は不可欠です。そのようなことがきちんとできればそれも一つの方策かと思っています。

それから、家庭で端末やパソコンを使い、きちんと学校から配信して、保護者との連絡を密に行えば、出席扱いとなります。

下川教育委員 リモートやフリースクールに行っている場合に、どこまでの情報で出席という判断をするかは、公平性という観点からも難しいことだと思いますが、様々なアプローチの方法がありますので、ご対応いただければと思います。

荒井教育長 他によろしいですか。

〔発言なし〕

〔全委員、「承認。」〕

それでは以上といたします。

次に、報告事項に入ります。「学校における事件・事故等」について報告してください。

三原学校教育課長 (資料に基づき説明。)

荒井教育長 何かご意見ございますか。

中山教育長職務代理 コミュニティスクールの関係でボランティアの方がクラスに入っていた可能性もありますので、ボランティアとの連携がどうであったか確認いただければと思います。また、安全面についての責任の所在などを明確にしておいた方が良くと思いますし、再度学校に連絡をしておいた方がいいと思います。

荒井教育長 学校の管理下、校内の事故ですので、私どもの責任ということになります。

この件についてはよろしいでしょうか。

[発言なし。]

[全委員、「承認。』]

では、議事に入ります。報告第4号、「冬季休業中の学校閉庁について」説明をしてください。

柳澤学校教育課庶
務係長
荒井教育長

(資料に基づき説明。)

これは校長会には連絡済みですが、12月28日から1月5日まで、学校によって冬季休業が少しくずれていますので、考慮してこの9日間に決定したということですが、よろしいですか。

[発言なし。]

[全委員、「承認。』]

それでは、この件は以上とします。

次に、報告第5号、「令和3年度大町市一般会計補正予算について」について説明してください。

三原学校教育課長
荒井教育長

(資料に基づき説明)

説明が終わりました。ご意見があったらお願いします。

[発言なし]

[全委員、「承認。』]

報告関係は以上です。

次に、議案第46号「大町市教育委員会組織規則の一部を改正する規則制定」について提案してください。

柳澤学校教育課庶
務係長
荒井教育長

(資料に基づき説明。)

説明が終わりました。

ご質問やご意見がありますか。

[発言なし]

[全委員承認、「議決。』]

では、以上で議事を終わります。

次に、協議事項の学校再編について、まとめて説明をお願いします。

一本木学校再編係
長
荒井教育長

(資料に基づき説明。)

説明が終わりました。

まず、中学校名の候補選定の報告をいただきました。来年1月の

教育委員会で決定をしたいと思います。来年1月末に総合教育会議がありますので、そこで市長との協議を経て、2月に行われる3月定例市議会に校名を提案していきます。

そのような予定でありますので、まず校名の件についてご質問やご意見ありますか。

中山教育長職務代理者

この3つの中から選ぶということが既定路線のような形で報道されていますが、先日、会合で一緒になった方たちも校名について話題にしており、私の印象では、もう少し校名を多く推薦していただき、校名の選定について教育委員会が主体性を持って進めるのかと思っていました。

荒井教育長

これは、校名等検討委員会へ諮問をし、検討をいただいた上での答申となっておりますので、この3案を尊重すべきと考えます。

校名等検討委員会では、広く意見を求め、議論した結果が3案という答えですから、それを最大限尊重するという事です。

そのような検討経過ですので、そこはご理解いただきたい。

中山教育長職務代理者

我々も検討委員会に参加させていただいて、特に2回目の検討委員会が大事だったと思いますが、時間の制約がある中でいろんなことが検討されないまま、例えば、現行の名前は使わないことなど、原則論みたいなものがないままに3案に決まった感じを受けます。

下川教育委員

今回、ここで報告いただいた中から、話し合っただけという以外に、教育委員会としての案を提案できるのか。

荒井教育長

それはできません。それをしないことを原則にしなければ、校名等検討委員会の皆さんにお願いする意味がないからです。

本当は一つの案に決めていただきたかったのですが、検討委員会の委員の皆さんが試行錯誤して最終的にこの3つの案としましたので、これを尊重していただきたいと思います。

仲原教育委員

検討委員会への諮問や、検討委員会からの答申を大切にしていくことは十分理解していますので、ご安心ください。

私が思ったのは、検討委員会の前段で、教育委員会としての意見を伝えておくべきだったとの反省はあります。例えば、山をイメージできる言葉であったり、現在、大切にまちづくりをしている「大町」という言葉が入っていたりと。

しかし結果、検討委員の皆さんから素敵な案が出てきましたので安心しています。

一つの意見として、この「清嶺」の「嶺」という漢字が中学校1年生には難しいのではないかと、書類を書くときに不便ではないかと、ということが少し気になります。

荒井教育長

本日決めるわけではないので、次回1月の教育委員会までにそれぞれが考えてきていただきたいと思います。よろしくお願ひします。

下川教育委員

3つの案の中から選ぶということですね。

荒井教育長

はい。そのようにお願ひします。

- 中山教育長職務代理者 検討委員会に諮問をして3つの案を選定していただいたということは了解しました。ただ、検討委員会の前に教育委員会で検討する内容もあったのではないかとということだと思います。
- 荒井教育長 検討委員会で議論されたものを尊重するという事は、私は大事だと思います。
- 甘利教育委員 もう一つ、校名公募の募集要項は教育委員の皆さんに事前に見ていただき、報告をして承諾を得ている内容です。
- 中山教育長職務代理者 教育長がおっしゃるとおりに検討委員会での3案を尊重して、校名は決めていくべきではないかと思います。
- 中山教育長職務代理者 今回は3案の中には選ばれませんでした。例えば、仁科第一という校名について、従前の名称は使わないことが原則であったのに、仁科とかを候補の中に入れていいかどうかの判断は。
- 荒井教育長 大町とか仁科とかは地名なので、入っていても問題ないと思います。
- 甘利教育委員 ちゃんとしたルールにのっとり、諮問をうけた検討委員会の委員の皆さんは考えてくれたと思います。教育委員の皆さんも熱い思いがあるのもわかります。私としては、検討委員会の委員の皆さんは、すごくいい校名候補を選定してくれたなど、本当に有難く思いました。
- 荒井教育長 今回、校名等検討委員会の委員の皆さんに諮問をして、そして答申をいただいたので、私共はそれを尊重して、この3つの候補の中から私共はそれぞれご自分の意見をまとめてきていただき、来月に相談して決めたいと思います。そういうことをご理解いただきたいのですが、いかがですか。
- 下川教育委員 そういうことになれば、決まった3つの案の校名について、私自身も思いを入れて、まとめないといけないと思っています。
- 荒井教育長 そういう思いも含めて、この中からどれがいいかお考えいただき、そしてその校名の由来をどれにしたかによって決めたいと思います。合議で詰めたいと思いますが、どうしても何れかに決まらない場合は、教育委員会の通例のどおり、採決をさせていただきたいと思います。
- このことについては以上とします。
- 次に、八坂小、中学校の件について、校名や義務教育学校化に伴う件についてご質問がありましたらお願いします。
- 義務教育学校の方向で、ということにしたのは、県教委と話をする中で、セパレートの義務教育学校として整備されても、管理職を一人減らし、その分を一般教諭にさせていただく。それから、養護教諭は両方の学校においていただける。事務職員もそれぞれの校舎においていただき、現在のスタッフ等に変更はないということが前提でお話できたので、単なる一貫校ではなくて正式に義務教育学校化するという方向で校名も一本化する、そのような内容になってい

ます。それを前提でご理解いただきたい。

ご質問がありましたらお願いします。

下川教育委員

今、教育長が説明された内容を保護者や地域の方にわかりやすくご説明していただきたいと思います。

先週、八坂の学校運営協議会に出てきたのですが、施設分離型とか、義務教育学校とか、聞きなれない言葉があるため混乱をしているかと思います。

美麻では既に学校一体型で義務教育学校としていますが、八坂はどうして分離型なのか、一般的に考えると学校は一緒になった方がいいのに、どうして分けないといけないのかなど、分けた時のメリット等を、23日の説明会ではわかりやすく説明していただきたいと思います。

荒井教育長

義務教育の学校と、一貫校を意味する義務教育学校は別なので、ここが分かりづらい。義務教育学校とは小中一貫校のことを言っていますが、義務教育の学校ではありません。これを八坂の皆さんに一貫校で、きちんと法律に基づいた一貫校は義務教育学校という言葉で呼ぶということを説明します。その上で、セパレートであっても、こういう体制でいきますというお話は23日にいたします。

いかがですか。

下川教育委員

はい、確認ですが、義務教育学校の一体型とセパレート型で、セパレートの場合は先ほど教育長のおっしゃった人員の補充や配置がありますが、増員してもらえる見込みはありますか。

三原学校教育課長

増員はありません。現状維持です。

逆に一校になった時には、事務が一人になってしまうなど懸念されるわけですが、現時点では、現状のままやって欲しいとお願いをしている状況です。増えるわけではありませんので、ただ、管理職の校長先生と教頭先生が両校にいたところ、一人減らして、それを一般教員とすることは、子どもたちと接する先生が増えるわけですので、そこは手厚くなる部分ではあります。

荒井教育長

管理は4人いるところが3人になるわけですね。校長が1人、副校長が1人、教頭が1人と。残りの1人の分が一般の教諭になって、子どもたちの指導にあたる。

仲原教育委員

小中分離型にした時の子どもにとっての一番のメリットはなんですかと聞かれた時、どのように答えますか。

荒井教育長

子どもにとってのメリットは、例えば、美麻で取り組んでいる協働の学びやカリキュラムマネジメントを通して、小中の連携が指導上一本で繋がることです。まだ何も決まっていますが、小学校の高学年に専科教員を配置していくとか、そして、ある意味では中学校のどこの部分で何がつながるのか、ということが意識しながら一貫した指導もできてくると考えます。

仲原教育委員

それでは、一貫教育のメリットの方で説明するということですか。

学校が離れていることのメリット、デメリットもまた聞かれると思いますので、少し心配です。

荒井教育長

学校が離れている部分では、ICTを活用することを考えています。情報機器を使うことである程度連携が図れます。このような指導を検討するというのは指導の一つの試みとして文科省が打ち出しており、ICTを活用しながら取り入れていくということです。

三原学校教育課長

そもそも施設一体型であるから、それが義務教育学校であるという考え方ではありません。先進地校のつくばでは、小学校と中学校が別の場所にあっても、条例上でこの小学校とこの中学校は一貫校です、としていますので、施設分離型は珍しいという意味ではありません。

荒井教育長

施設分離型の一貫校は全国に沢山あります。京都ではほとんど一貫校だったかと思います。ただ、他の一貫校では、小学校1校と中学校1校とは限らず、小学校2校と中学校1校で一貫校というところもあります。ただし、セパレートでしっかり義務教育学校としているところは、そんなに多くありません。

甘利教育委員

そもそものところ、八坂小学校と中学校、特に中学校は立派ですが、どうして八坂の小中の場合は、どちらかにする、ということをしなくて、両方を使うのか。

荒井教育長

八坂の学校運営協議会の中でもその話は出たことがあります。実際問題として、中学校に小学校を持っていくのは、物理的に無理であると考えます。小学校の6学級分を今ある中学校に作らないといけません。また、中学校を小学校に持ってきた場合には、中学校の3クラスと、中学校に必要な技術室とかそれが全部備わらない状況です。

三原学校教育課長

八坂の学校には空き教室がありませんので、もしやるとすれば小学校のところに中学校分を増設するということができないと思います。教育システム的な小中一貫校を行うことは、そこまでしなくてもできますので、一つの建物に9年間いなくてはいけないシステムではないことを説明しなくてはいけないと思います。

中山教育長職務代理者

教育現場を経験した私からすると非常に有難い方向を出してもらっていて、現場サイドとしては非常に喜ばしいことになっているかと思います。ですから、他の一貫校とは意味合いが全然違いますし、他県での人事などは長野県とは全く違うので、一貫校にする意味は別にあるわけです。

八坂の場合は、是非、小中一貫校を進めてもらうと同時に、人事配置などの要望も進めてもらいたいと思います。

荒井教育長

何回も県教委と懇談をし、実務的な一貫校にはしても義務教育学校にはしないということで、話をしています。県教委では、現在の体制を維持するという事については理解をいただいています。ただ、教員の人事は結構大変で、ある程度免許を考慮しながら、いく

つかの教科の連携を図る必要があります。

下川教育委員

学校運営協議会で話がありましたが、美術の先生が中学へ行って授業をしているということのアンケート調査を行ったら、やはり専門の先生が教えてくれるのはとてもいいことだ、という回答のようでした。そういう意味では、美麻のようにホップ・ステップ・ジャンプのようなグループ的なことはできませんが、5・6年生の教科担任制みたいなことは検討されると思いますので、そのようなメリットはあるのかなと感じました。

荒井教育長

教科によっては、縦のカリキュラムマネジメントの連携がうまくいく教科と、連携がうまくできないという両面が出てくる可能性はあります。

よろしいですか。あと、この主な意見のところはよろしいですか。

〔意見なし。〕

校名の募集についてはいいですか。

〔意見なし。〕

校名について「八坂」という言葉の使用条件はありませんか。

三原学校教育課長

それはありません。

下川教育委員

決定プロセスは今回も中学校と同じでよろしいですか

三原学校教育課長

諮問という形はとりませんが、校名の選定方法は募集要領で示して、その後、準備委員会で応募状況の整理、候補の選定をして、教育委員会へ報告することになっています。

中山教育長職務代理者

検討委員会では、スケジュールを念頭に置きながら責任を持って話し合っただけだと思います。

荒井教育長

そうですね。スケジュールにある程度沿っていかないと、新中学校に行く予定の子どもたちもそのような気持ちでいるわけですので、そのことは大事にしていこうと思います。

他に何かありますか。

〔発言なし。〕

校名の募集はこれでよろしいですか。

〔発言なし。〕

補足ですが、「一貫校」で統一してありますので、この方が市民の皆さんにわかりやすいので。

義務教育学校を目指していますが、まだ義務教育学校に決定した

わけではありません。

下川教育委員

施設分離型の小中一貫校にする、というのは決まっていますか。義務教育学校にするというのは、また別のプロセスとして決定が必要ですか。

荒井教育長

一貫校にするということは教育委員会で決定していますが、義務教育学校にするには、教育委員会で方針を出して、条例化して初めて正式に決まります。

よろしいでしょうか。

[発言なし。]

八坂の小中学校については以上とします。

次に、学校再編に伴う新中学校の施設整備については先ほどの予算と関係していますが、プールを解体して駐車場にする予定ですが、駐輪場はどうしますか。

三原学校教育課長

現状の駐輪場で考えています。

荒井教育長

通学方法で検討するということになりますけれど、新中学校の施設整備に関連する駐輪場整備はありませんので、そのように理解していただきたいと思います。

校舎の改築については、以前にお話した内容の通りです。今後の予定については、令和5年の1月までには終わるという予定です。また、授業に係る部分はできるだけ夏休みに施設整備をやるということによろしいですか。

三原学校教育課長

授業をしている場所を改修等するわけではなく、空き教室を改修しますので、授業中は音の出ない作業はできると思います。

荒井教育長

よろしいですか。

[発言なし。]

それでは学校再編については以上とします。

次に、連絡事項で、大町市戦略推進委員会の委員は中山先生にお願いしたいということで、資料37ページ以降の報告ですね。よろしいでしょうか。

[意見なし。]

では、この件は以上とします。

次に、議会の社会文教委員会との懇談会について、説明してください。

柳澤学校教育課庶務係長

来年1月18日の火曜日、15時半、懇談会を開催したいと思えます。また改めてご連絡申し上げます。

荒井教育長 議会側から何を議題として懇談したいか、確認しておいてください。議会の方の意向も聞いて、議題を2つか3つに絞ってもらって下さい。これは、教育委員さんと議員さんの懇談会ですから。事務局の方は必要があれば説明を求めますが、そのように理解しておいてください。

それでは議会の社会文教委員会との懇談会については以上とします。当面する日程について説明してください。

柳澤学校教育課庶務係長 (資料に基づき説明)

仲原教育委員 質問ですが、成人式について、コロナなどで出席困難な人に対して何か企画はありますか。

志賀生涯学習課長 短縮日程での実施を予定しており、並行してオンラインの配信も準備をしています。例年スライドショーを流していましたが、簡略化し、スライドショーも今回はやらないことになっています。

仲原教育委員 出席者は減ると思いますが。

荒井教育長 基本的には成人式を行い、コロナの心配や体調で参加できない方にはオンラインで参加という意味ですか。

志賀生涯学習課長 はい、状況によっては全体をオンラインにすることもあります。周知については、直前まで、ホームページでの確認となります。緊急事態という状況になれば中止も止むなしと、ご理解いただくしかありません。

仲原教育委員 抗体キットも配布していただけるということで、ありがとうございます。

志賀生涯学習課長 当初は全員にお配りする予定でしたが、数的な問題もあり、ご希望される方ということで今回は対応いたします。

仲原教育委員 急遽変更があった場合は、行こうと思っている人たちは、各自アンテナを張って、ホームページを確認するということになりますね。

2学年に渡っているので、心配されている人もいると思います。

荒井教育長 その件については、もう一度打ち合わせをした方がいいですね。ホームページだけでどういう対応ができるかわかりませんが、それと、具体的な感染対策をした会場設営もしっかりやっておかないといけないので、後で打ち合わせをしたいと思います。

この件は以上とします。

では、教育委員会の日程についてお願いします。

柳澤学校教育課庶務係長 (資料に基づき説明。)

荒井教育長 臨時会が、3月4日とありますが、3月2日の8時30分からにします。

第3回の教育委員会は、23日でよろしいですか。

[発言なし]

以上で、予定した案件は終わりました。これで閉会ですが、甘利委員さんが、任期満了ということで、今月末をもってご退任されます。

甘利教育委員

甘利さんから一言ご挨拶いただきたいと思います。

本当にお世話になりました。

4年弱ですが、温かく迎えていただきまして、この間貴重な経験もたくさんさせていただくことができました。感謝しています。

ものすごい大きな変化が波のように次々と押し寄せてくる時代ですが、大町市教委はその波に飲み込まれるどころか、その先を走っているような印象を常に持っていました。一緒に仕事をさせていただき、いよいよ実際に、学校の再編も具体的に動き出しました。

私は、教育行政に関わらせていただいたことで感じましたが、必ず、これからの大町の子どもたちにふさわしい教育環境を届けてあげることができるものだと信じています。

これからは自分の仕事場に戻り、一市民として、わくわくしながら大町市の学校再編を見守らせていただき、大町市教育委員会を影ながら、心から応援をしております。

身体だけは皆さん、ご自愛ください。

働き過ぎにならないように、ますますご活躍ください。心からお祈りしております。大変ありがとうございました。お世話になりました。

ありがとうございました。

後任の方は、議会でも議決されていますのでお話しします。

荒井教育長

大町市内の三日町の森しのぶさんという方が、甘利委員さんの後任ということで、27日の朝、辞令交付をします。また1月に改めてご紹介をします。

それでは、以上を持ちまして、第12回の定例会を閉会とします。

《閉会 午前11時43分》